

# 福島大学 ファミリー会

05

2025.2



## TOPICS

会長挨拶

2

地元企業を知る  
-1年生からのインターン入門-

3

## PICK UP

ホームカミングデー  
元女子バレーボール日本代表監督  
柳本晶一氏、NPO法人日本語  
スピーチ協会理事長筈川幸司氏に  
よる記念講演

5

福大サークルをご紹介

8

## 大学のようす

福島大学学生ジャーナリスト(通称:GJ)の活動の様子です。GJとは、福島大学広報活動の強化を目的として、本学総務課広報係のもとに結成されました。学生ならではの視点で、多様なメディアを駆使し、福島大学の魅力を学内外に広報しています。令和6年10月にGJの公式Xと公式Instagramが開設されました。その他、普段の活動の様子や福島大学の公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」の写真もアップしていますので、是非ご覧ください。





## 校友会会長(福島大学長)挨拶



福島大学校友会 会長  
三浦 浩喜  
(福島大学長)

福島大学校友会(ファミリー会)の会員の皆様には、常日頃より本学の教育研究に対し、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年は創立75周年を迎えた記念の年であり、6月には県外初開催となる校友会事業「関東交流会」を開催いたしました。普段なかなか福島までお越しになれない卒業生や保護者の方からも本学への応援のお言葉をいただき、いかに皆様に支えられているかを改めて実感する貴重な機会となりました。お越しいただいた皆様にこの場を借り改めて御礼申し上げます。

さて、学生を取り巻く状況は常に変化の中にあります。あれほどまでに影響を及ぼしたコロナ禍は既に過去のものになりつつありますが、不安定な世界情勢や経済状況による物価高は学生生活を直撃し、また、18歳人口の激減は学生の受験動向や就職状況に様々な形で影響を及ぼすことになるでしょう。それらに対して、いかに学生たちに安心して勉学に取り組む環境を提供できるかが、私たちの使命となります。会員の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

本学では令和9年度に学士課程を再編する方向で準備を進めております。これまでの5学類から4学部へと改組し、培ってきた伝統を守りつつ、学部を越えた教育により新しい社会課題に挑めるイノベーション人材の育成を目指します。今年は、さらに本学のプレゼンスを高め、地域に頼られる大学であり続けられるよう、強力かつ着実に大学改革を推し進めていく所存です。

これからの福島大学に、どうぞご期待ください。



## 校友会 01 支援事業

### 学生支援に係る事業

## 「ぼうさい支援袋」を販売、売上金の一部を 令和6年能登半島大雨災害義援金へ

校友会では、学生の防災意識向上を目的として昨年実施したぼうさい支援袋の販売を今年も実施しました。

福島大学生協で販売されている食料品やアルミブランケット、LEDライト、圧縮タオル等といった2,000円相当の防災備蓄品セットを、校友会会員の学生が特別価格の300円で購入できる企画です。販売期間は2024年10月29日から12月13日で、販売総数は141袋でした。

また、販売価格300円の内200円は、令和6年能登半島大雨災害の災害義援金となり、2024年12月24日、校友会の学生2名により日本赤十字社へ合計で28,200円を届けました。

学生は「ぼうさい支援袋を購入することで能登半島の復興につながればと考え購入した。」「これまで防災を特に意識していなかったが、今回のぼうさい支援袋の購入をきっかけに災害の備えについて考えるようになった。」と述べていました。



学生が「ぼうさい支援袋」を購入する様子。



販売した  
「ぼうさい支援袋」  
の中身。

## 校友会 02 支援事業

### キャリア・就職活動支援

## 地元企業を知る —1年生からのインターン入門—

キャリアセンターでは、1年生を主な対象とし、地元企業と連携しながら1日型の社会人体験を実施しています。本格的なインターンシップの入門編として、見学や会社概要を聞くだけでなく、作業体験や社員との交流、グループワークなどを盛り込んだプログラムを実施し、福島県内の企業を知るとともに自身の働くイメージや職業などについて、将来への視野と関心の幅を広げることを目的としています。

また、参加者には受講を必須とした事前研修を実施してい

ます。研修では、実習での目的意識を持ってもらうため、参加にあたって大切なこととして「福大生の代表であるという自覚と責任を持つ」ことや、社会人としてのマナーを身につけるため、マナーの基本的な考え方や身だしなみや挨拶のマナーについて学ぶ場を提供しています。

令和6年度は8月、9月に計4回実施しました。延べ71名の学生(1年生)が参加し、計5社を訪問しています。校友会では、バス借り上げ代を支援しています。



(渋谷レックス)グループワーク  
「営業体験～販促を体験してみよう～」



(元気アップつちゆ)  
バイナリー発電所見学



(山水荘)グループワーク  
「土湯温泉を楽しむプランを考えよう!」

### 参 | 加 | 学 | 生 | の | 声 |

#### 福島民友新聞株式会社

今回プレ・インターンシップに参加して、就職活動準備のよい一歩を踏み出すことができました。ほとんどの社員の方々が、学生の間に資格は取れるだけ取っておくべきとおっしゃっていて、より身が引き締まりました。FPや簿記、秘書検定など、新聞社以外でも幅広い職種で持っておくと便利な資格を教えてくださいましたので、挑戦しようと思います。実際に働く社員の方からこの仕事をやっていて感じるやりがいもお聞きすることができましたし、社員の皆さんがパソコンに向かって黙々と仕事されている様子も見ることができ、雰囲気も感じることができたので、今後進路を考えていくにあたって役立てたいです。

#### 会津オリンパス株式会社 会津工場

今までは業種という事ばかりに気をとられてきましたが、会津オリンパス株式会社を選んだ理由に「同じ職場で働く人のためになるような仕事がしたくて、オリンパスを選んだ」という社員の方の言葉を聞いて、自分が何をしたいのか、何をやりがいにしたいのかで就職先を決めていこうと思いました。普段の生活の中でも、小さな問題を自分事としてとらえて行動していくという大切さと気付きを与えていただきました。

## 校友会 03 支援事業

### 学生支援に係る事業

## 福大生応援プロジェクト2024 100円牛丼の販売! 学生支援×震災復興×大学研究

福島大学との協力で2024年5月15日からの3日間、校友会会員(学生)を対象として、飯館村産の和牛肉100%を使用した牛丼を1杯100円(税込)で販売しました。

この事業は、東日本大震災からの復興、飯館牛のブランド復活、学生への食の支援を目的とし、本学食農学類教授と企業との共同の研究により、和牛肉のうま味を引き出した牛丼を提供するもので、生協食堂には連日長蛇の列ができ、あっという間に完売しました。

実際に食べた学生からは、「普段は外国産ばかりで飯館村の牛肉を食べる機会はなかったが、飯館村の畜産の現状について考える機会になった。」「学生だと最初に削るのは食費なので、この価格で食べられるのはとてもありがたい。」といった声が寄せられました。



飯館村産の和牛を100%使用した牛丼

## 校友会 04 支援事業

### 4年生対象事業

## 卒業記念品の贈呈

現在の4年次生(令和6年度卒業生)を対象に、名刺入れを卒業記念品として贈呈します。社会人になると必要となる名刺入れ。内側には本学のロゴ、Fマークの型押しが施されています。校友会では4年次生への卒業記念品の贈呈を、4年生対象事業として継続していく方針です。





## 校友会 05 支援事業 ▶▶

教育研究活動等に役立つ福島大学応援団の人脈形成にかかる事業

## 福島大学校友会「関東交流会」を初開催！

大学創立 75 周年を記念して、2024 年 6 月 1 日に「関東交流会」を東京丸の内で開催しました。関東交流会とは、遠方に住む福島大学校友会会員に、現在の福島大学に対する理解を深めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的としたものです。

第一部の講演会では、三浦浩喜学長／校友会会長による開会挨拶及び福島大学の近況報告を行い、田中明キャリアセンター長が校友会事業による活動報告を行いました。

また、学生 2 名がブレ・インターンシップ活動（1 日型インターンシップ）について報告したほか、松田幹理事（研究・地域連携担当）が「福島大学の学術研究と産官学連携」と題し、主として共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所及び食農学類附属発酵醸造研究所に関する記念講演を行いました。

第二部の交流会では、名刺交換や参加者同士の交流が行われました。交流を深めるため、参加者が自己紹介や大学時代の思い出を語る一言スピーチをマイクリレー形式で行いました。最後に学生歌「今日の世紀に」を合唱し、懐かしい曲に思いを馳せ、笑顔と歌声が会場に広がりました。

本イベントには、約 50 名を超える卒業生・修了生、教職員 OB、企業等が参加し、大盛況のうちに幕を閉じました。



校友会事業による活動報告にて学生が「ブレ・インターン」の発表をする様子



第 2 部交流会にて参加者全員で学生歌を合唱する様子

## 校友会 06 支援事業 ▶▶

学習環境整備

## 大学会館2階大集会室の環境整備 イベント用テントの整備を支援

大学会館 2 階にある大集会室は 1 年生のスタートアップセミナー、企業説明会、サークル活動等で活用され、学類問わず学生の利用が多く稼働率が高い施設です。本事業では、経年劣化により古くなった長机用の台車を設置しました。

また、主に大学祭、スポーツフェスティバル等で使用するイベント用テントは、繁忙期には学外からテントを借用する状況であったため、このたび 5 張りのワンタッチテントを新たに導入しました。

2025 年 1 月 30 日に、大集会室にて長机用の台車とテントの贈呈式を行いました。贈呈式に参加した渡邊学生・留学生課長から寄贈に対する謝辞が述べられ、続いて学生代表から「大集会室がより安全で快適な場所となりました」「今後多くの場面でテントを使用させていただく機会が増えると思いますので、大切に使用させていただきます」と感謝の言葉をいただきました。



贈呈式の様子

（左から、歌川さくらさん（チアダンスサークル Peach ☆ Graffiti 代表代理）、本田諒成さん（第 61 回福大祭実行委員長）、渡邊 能仁課長（学生・留学生課）、川俣信樹さん（第 60 回福大祭実行委員長）、本田新菜係員（総務課 校友会・基金支援係）

## 校友会 07 支援事業 ▶▶

学生教育支援環境等整備事業

## 学生向け図書・電子資料の整備を支援

フクニチャージ図書館<sup>※</sup>では、学生の皆さんが講義を理解し、レポート・論文等を作成したり自律的学習を進めたりするための環境を整備しています。

校友会支援事業により、以下の資料を整備することができました。

- ・学術雑誌「Nature」2025 年
- ・福島民友新聞 Web 版「みんゆうデジタルアーカイブ」
- ・人文社会科学／自然科学／農学など様々な分野の参考図書／電子ブック

※福島大学附属図書館は、2023 年 4 月 1 日より、福島日産自動車株式会社とのネーミングライツ・パートナー契約を締結し、愛称を「フクニチャージ図書館」としています。



## 校友会 08 支援事業 ▶▶

国際交流(海外留学)支援／国際交流リーフレットの配布

## 留学を考える福大生は必読！

福島大学国際交流センターでは、留学制度や海外協定校の情報、学内の国際交流活動等についての理解を促進するため、国際交流リーフレットを作成し、配布しています。実際に留学を経験した学生からのアドバイス、留学生をサポートする「バディ制度」、英語語学試験のハイスコア取得を目指すプログラム等、実用的な情報を掲載しています。

ぜひリーフレットをご一読ください



## 校友会 09 支援事業 ▶▶

教育研究活動等に役立つ福島大学応援団の人脈形成にかかる事業

## 元女子バレーボール日本代表監督柳本晶一氏、NPO法人日本語スピーチ協会理事長笈川幸司氏による記念講演などを実施(ホームカミングデー)

2024 年 11 月 2 日、福大祭にあわせて第 17 回ホームカミングデーを開催しました。今回は、福島大学の創立 75 周年を記念し、「福島大学の挑戦と成長」をテーマに実施されました。

〈全体プログラム〉

- 第 1 部：校友会総会（L-4 教室）
- 第 2 部：ホームカミングデー（L-4 教室）
  - ①開催挨拶 三浦浩喜 学長／校友会会長
  - ②同窓会長挨拶 峯島和彦 全学同窓会長／校友会副会長
  - ③記念講演「ここ一番で力を発揮するために」 柳本 晶一 氏
  - ④記念講演「出る杭になる覚悟」笈川幸司 氏
- 第 3 部：交流会（フクニチャージ図書館）

〈第一部〉校友会総会の様子



〈第三部〉交流会にて Tea & Things よりハーブティーを受け取る参加者



特別講演

【記念講演】 元バレーボール全日本女子代表監督の柳本晶一氏は、「ここ一番で力を発揮するために」をテーマに、自身の代表監督経験をもとに、選手の長所の見つけ方やリーダー論などについて講演しました。笈川氏は、「出る杭になる覚悟」をテーマに、自身の北京での約 20 年間におよぶ日本語スピーチ指導の経験や、独自のスピーチ指導方法であるポジティブフィードバック、コミュニケーション術などについて講演しました。



【交流会】 場所をフクニチャージ図書館に移して交流会を開催。学生自ら学修の企画の立ち上げ・計画・実践を行う「自主学修プログラム」から発展し結成された学生団体、「Tea & Things」が参加し、その活動の中で生産されたハーブを用いたハーブティーが参加者へふるまわれました。また、会場では、本学周辺の菓子店 5 店舗の協力で菓子販売が行われたほか、本学の公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」をプリントした「めばえちゃんクッキー」が新発売されました。

今回の開催では卒業生、在学生の家族を含む校友会会員のほか、地域住民などの一般も含め約 50 人が参加し、「講演をはじめ福島大学の近況を知ることができ、充実した内容で参加して良かった」などの感想が寄せられました。

## 令和 6 年度福島大学校友会（ファミリー会）総会 表決結果

ホームカミングデーの第 1 部として校友会総会が開催され、31 名の方に出席いただきました。表決結果は以下のとおりです。

|                                    |        |       |       |
|------------------------------------|--------|-------|-------|
| 審議事項 1. 令和 6 年度役員及び理事会構成メンバーについて   | 賛成: 31 | 反対: 0 | 棄権: 0 |
| 審議事項 2. 令和 5 年度事業実施報告および会計決算報告について | 賛成: 31 | 反対: 0 | 棄権: 0 |
| 審議事項 3. 令和 6 年度事業計画および予算案について      | 賛成: 31 | 反対: 0 | 棄権: 0 |

結果 すべての審議事項について、全員の賛成をもって可決されました。

令和 6 年度  
理事会

福島大学校友会（ファミリー会）の令和 6 年度理事会が、6 月 29 日に開催され、13 名の役員（うち 11 名が対面、2 名がオンライン出席）の皆様にお集まりいただきました。審議事項は、上記総会の内容と共通です。審議の結果、提案どおり承認されました。役員の皆様より、各議題についてご意見をいただきました。今後検討、改善してまいります。

PICK UP



令和6年度福島大学校友会(ファミリー会)役員について

令和6年度の福島大学校友会(ファミリー会)役員については、校友会(ファミリー会)HPをご覧ください。



令和5年度会計決算報告

令和5年度福島大学校友会会計決算書

| 収入内訳                  |            |            |             |                                 |
|-----------------------|------------|------------|-------------|---------------------------------|
| 科 目                   | 予算額        | 決算額        | 増減額         | 備 考                             |
| 前年度繰越金                | 44,946,721 | 44,946,721 | 0           |                                 |
| 会費                    | 22,000,000 | 15,540,000 | ▲ 6,460,000 | 加入者777名×2万円                     |
| 雑収入                   | 0          | 352        | 352         | 預金利息                            |
| 収入合計 (A)              | 66,946,721 | 60,487,073 | ▲ 6,459,648 |                                 |
| 支出内訳                  |            |            |             |                                 |
| 科 目                   | 予算額        | 決算額        | 増減額         | 備 考                             |
| (1) 主に学生支援に係る事業       | 18,520,000 | 13,540,241 | 4,979,759   |                                 |
| ①キャリア教育・就職活動支援        | 1,920,000  | 1,474,280  | 445,720     | フェア開催、バス借上                      |
| ②図書資料の充実への支援          | 4,300,000  | 4,295,847  | 4,153       | 電子ブック・東日本大震災関連図書購入              |
| ③国際交流(海外留学)支援         | 300,000    | 158,730    | 141,270     | 国際交流リーフレット製作                    |
| ④食生活応援企画              | 1,000,000  | 313,081    | 686,919     | ぼうさい支援袋購入支援                     |
| ⑤4年生対象事業              | 6,000,000  | 2,283,376  | 3,716,624   | スーツ・卒業アルバム購入、卒業袴レンタル支援、偽造防止用紙購入 |
| ⑥ロッカー整備               | 5,000,000  | 5,014,927  | ▲ 14,927    |                                 |
| (2) 人脈構築事業            | 16,500,000 | 5,168,987  | 11,331,013  |                                 |
| ①会報                   | 700,000    | 605,630    | 94,370      | 会報製作・発送                         |
| ②ホームカミングデー            | 300,000    | 121,205    | 178,795     | 講師謝金、役員交通費、飲物代                  |
| ③地区交流会                | 1,400,000  | 0          | 1,400,000   |                                 |
| ④学内外交流事業              | 100,000    | 0          | 100,000     |                                 |
| ⑤校友会カフェ               | 14,000,000 | 4,442,152  | 9,557,848   | 什器購入、照明工事                       |
| (3) その他校友会維持、発展のための事業 | 600,000    | 1,361,573  | ▲ 761,573   |                                 |
| ①事業コーディネーター人件費        | 0          | 0          | 0           |                                 |
| ②その他事業(運営費等)          | 600,000    | 1,361,573  | ▲ 761,573   | メール配信システム、加入案内・会員カード製作          |
| (4) 予備費               | 5,000,000  | 5,000,000  | 0           |                                 |
| ①校友会サロン積立て            | 5,000,000  | 5,000,000  | 0           |                                 |
| 支出合計 (B)              | 40,620,000 | 25,070,801 | 15,549,199  |                                 |
| 次年度への繰越額 (A - B)      |            | 35,416,272 |             |                                 |

令和6年度事業計画

基本事業

(1) 学生支援に係る事業(会則第3条1号)

- ①キャリア教育・就職活動支援
  - 業界研究・インターンシップフェアへの支援
  - キャリアセンター学生向けホームページ(キャリアさばインデックス)の運用に対する支援
  - プレ・インターンシップ(1日就業体験)への支援
  - キャリアカフェへの支援
- ②図書資料の充実への支援
  - 電子ブック等(非来館型図書資料)の充実への支援
  - 図書資料の充実への継続した支援
- ③国際交流(海外留学)支援
- ④福大生応援プロジェクト
- ⑤卒業生への記念品の贈呈
- ⑥学習環境整備
- ⑦サークル活動支援

(2) 教育研究活動等に役立つ福島大学応援団の人脈形成に係る事業(会則第3条2号3号)

- ①会報の発行(年1回)
- ②ホームカミングデーの開催
- ③地区交流会
- ④学内外交流事業
- ⑤校友会カフェの整備

(3) その他校友会維持、発展のための事業(会則第3条4号)

校友会会員への情報発信のためのメール配信システムの運用、校友会加入案内書の製作、会員カードの制作、ネットバンキングの利用料、理事会運営費

①会員データベース

「名簿管理システム」を導入。これまでは校友会会員の情報管理をエクセルで管理しており、ヒューマンエラーが起きやすく、情報の管理体制が整っていない状況にあった。システムの導入によって名簿作成・更新等の入力システム上で完結するよう整備した。今後、コミュニティ管理・メール配信の機能などを備え、一斉メールでの情報発信が可能となる。

(4) 予備費

①校友会サロン積立て

校友会カフェを发展させ、同窓生や保護者をはじめとした校友会の皆さまのボーダーレスな交流拠点として、また、一人でのご利用はもちろんのこと、ミーティング、セミナー、会議、会合などの目的にあった形で利用できる施設を整備するための資金を積み立てる。(2023年度積立開始～[目標]2039年度大学創立90周年)

校友会運営に関する事業

- ①理事会(年1回)
- ②総会(年1回)

令和6年度会計予算案

| 収入内訳                  |            |            |              |                             |
|-----------------------|------------|------------|--------------|-----------------------------|
| 科 目                   | 令和5年度予算額   | 令和6年度予算額   | 増減額          | 備 考                         |
| 前年度繰越金                | 44,946,721 | 35,416,272 | ▲ 9,530,449  |                             |
| 会費                    | 22,000,000 | 22,000,000 | 0            | (R6)入学定員(学類+編入+院)1,100名×2万円 |
| 雑収入                   | 0          | 0          | 0            |                             |
| 収入合計 (A)              | 66,946,721 | 57,416,272 | 9,530,449    |                             |
| 支出内訳                  |            |            |              |                             |
| 科 目                   | 令和5年度予算額   | 令和6年度予算額   | 増減額          | 備 考                         |
| (1) 主に学生支援に係る事業       | 18,520,000 | 11,030,000 | ▲ 7,490,000  |                             |
| ①キャリア教育・就職活動支援        | 1,920,000  | 1,050,000  | ▲ 870,000    | フェア開催、バス借上                  |
| ②図書資料の充実への支援          | 4,300,000  | 4,300,000  | 0            | 電子ブック・東日本大震災関連図書購入          |
| ③国際交流(海外留学)支援         | 300,000    | 200,000    | ▲ 100,000    | 国際交流リーフレット制作                |
| ④福大生応援プロジェクト          | 1,000,000  | 1,000,000  | 0            |                             |
| ⑤卒業生への記念品の贈呈          | 6,000,000  | 2,000,000  | ▲ 4,000,000  | 卒業記念品等                      |
| ⑥学習環境整備               | 0          | 2,000,000  | 2,000,000    | 大学会館大集会室整備・イベント用テント         |
| ⑦サークル活動支援             | 0          | 480,000    | 480,000      |                             |
| ⑧ロッカー整備               | 5,000,000  | 0          | ▲ 5,000,000  | ロッカー整備事業は完了したため             |
| (2) 人脈構築事業            | 16,500,000 | 3,200,000  | ▲ 13,300,000 |                             |
| ①会報                   | 700,000    | 700,000    | 0            |                             |
| ②ホームカミングデー            | 300,000    | 300,000    | 0            |                             |
| ③地区交流会                | 1,400,000  | 1,100,000  | ▲ 300,000    |                             |
| ④学内外交流事業              | 100,000    | 100,000    | 0            |                             |
| ⑤校友会カフェ               | 14,000,000 | 1,000,000  | ▲ 13,000,000 | 可動式カウンター                    |
| (3) その他校友会維持、発展のための事業 | 600,000    | 1,200,000  | 600,000      |                             |
| ①事業コーディネーター人件費        | 0          | 0          | 0            |                             |
| ②会員データベース             | 0          | 600,000    | 600,000      | 名簿管理システム                    |
| ③その他事業(運営費等)          | 600,000    | 600,000    | 0            | 加入案内書・納入書制作費、会員カード発行等       |
| (4) 予備費               | 5,000,000  | 5,000,000  | 0            |                             |
| ①校友会サロン積立て            | 5,000,000  | 5,000,000  | 0            |                             |
| 支出合計 (B)              | 40,620,000 | 20,430,000 | ▲ 20,190,000 |                             |
| 次年度への繰越額 (A - B)      |            | 36,986,272 |              |                             |



## 〔 福大サークルをご紹介 〕

Campus Life

福島大学には100を超えるサークル・部活があります。  
その中から、とても元気がよく活躍しているサークルを1つご紹介します。



福島大学男子ラクロス部の  
公式Instagramはこちら



男子ラクロス部は2022年に初めて東北リーグに単独出場、初勝利を飾った歴史の浅いチームです。

昨年2024年には初めて東北3位になり、今後は東北制覇を目標としています。

「応援されるチーム」というチーム理念を軸にして、部員約30人で日々活動しており、学年の壁やプレイヤーとマネージャーの壁が無く、非常に仲の良い元気なチームです。また、外部の監督コーチとの関わりも多く、目標達成のためにラクロス部一丸となって活動しています。



## ..... Giving Campaignを今年も開催！ .....

福島大学の部活動・サークル・研究室等を応援する全国最大級のオンラインチャリティイベント「Giving Campaign」(ギビングキャンペーン)を2024年10月11日～20日に開催しました。延べ38団体がエントリーし、卒業生や保護者、教職員、地域の方々に向けて自ら応援を呼びかけました。10日間で9,292人からの応援投票を獲得し、多数の応援メッセージおよびご寄附が参加団体によせられました。各団体が集めた応援投票数や獲得した企業賞の多寡によって、協賛企業等からの活動支援金が各団体に分配されます。



Giving Campaign  
結果報告

学生による  
ラジオ番組

めばらじ!

福島大学の「学生ジャーナリスト」が制作するラジオ番組(通称めばらじ)では、福島大学の様々なサークルや教員などにインタビューをして紹介しています。これまで知らなかったサークルや、先生たちの意外な一面など、きっと発見があるはず! 第29回では、「金谷川プロジェクト」の代表である嶋原寛伊さんを取材。番組はYouTubeからご覧になれます!



YouTubeで  
めばらじを  
チェック!



## 福島大学校友会(ファミリー会)とは?

「福島大学校友会(ファミリー会)」は、福島大学創立70周年を機に、卒業(退職)後も「福島大学の一員であり続ける(福島大学ファミリー)」という意識の醸成・強化を目的に設立しました。福島大学におけるすべての学類の在校生と保護者(後援会会員)、卒業生(同窓会会員)、教職員、退職者(教職員OB会会員)及び福島大学にゆかりのある方々を会員として組織され、主として福島大学と福島大学の学生を支援する団体です。

## 福島大学校友会(ファミリー会)会報 vol.5

○発行日: 令和7年2月(年1回発行)

○発行者: 福島大学校友会事務局(福島大学総務課校友会・基金支援室)

〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL 024-503-4991 FAX 024-548-3180

福島大学  
校友会HP

